

# Aprico Afternoon Salon

アプリコ・アフタヌーン・サロン

～平日午後は、アプリコで、ゆったりのにんびりクラシック～

## Vol. 4 ブラームスとクララ ～永遠の純愛～

Takako Takahashi



Yoshihiro Kondo

ブラームス:交響曲 第4番 ホ短調 Op.98 2台ピアノ版(全楽章) ほか  
(ブラームスによる自作編曲)

※曲目は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

近藤 嘉宏、高橋 多佳子(ピアノ)、浦久 俊彦(ナビゲーター)

「大作作曲家と恋する方法、教えます(全4回シリーズ)」

2018 1/23 火

14:00開演 (13:15開場)

[16:00頃終了予定]  
※終演時間は多少変動することがあります

大田区民ホール・アプリコ 大ホール

JR・東急線「蒲田駅」東口から徒歩約3分 / 京浜急行線「京急蒲田駅」西口から徒歩約7分

料金(全席指定)

一般券(各回)

2,500円

Vol.3&Vol.4セット券

4,000円

☆セット券は、1,000円お得!!

※セット券は、窓口・電話予約のみの販売となります。オンラインでの販売はございません。

※Vol.3 (10/5)公演終了後のセット券販売はございません。

●未就学児の入場はご遠慮願います。●車椅子席(4席)をご希望のお客さまは、お電話でお申込みください。

託児サービスございます 0歳から小学生未満対象。要予約(お子様お一人につき2,000円ご負担いただきます) <予約受付>マザーズ 0120-788-222 (10:00～12:00、13:00～17:00土日祝除く)

チケット  
発売日  
2017年  
7月12日(水)  
10:00発売開始

オンライン  
チケット

発売日から各公演前日20:00まで座席をご予約いただけます(24時間対応)

On Line <http://www.ota-bunka.or.jp/>

チケット  
専用電話  
03-3750-1555  
[10:00～20:00]

■発売初日15:00以降は下記でも電話予約・窓口販売いたします(10:00～20:00)

●大田区民ホール・アプリコ 03-5744-1600

●大田区民プラザ 03-3750-1611

●大田文化の森 03-3772-0700

主催:公益財団法人大田区文化振興協会 企画協力:浦久俊彦事務所







## 平日午後、サロンでくつろぐような、 ゆったりした気分でステキな音楽を楽しむコンサート

今日のコンサートの特徴は、前半はサロン風のステージで資料画像を見ながらのトークを中心に、そして後半は、たっぷり演奏を聴いて頂きます。思わず誰かに話したくなるような作曲家の知られざるエピソードを、ヨーロッパの歴史・文化を楽しく語ることで定評のある、音楽・文化芸術プロデューサーの浦久俊彦が案内役となり、各回に登場するアーティストと一緒に紐解いていきます。多目的ホールでありながら、美しい響きを持つアプリコ大ホール。一度聴いたら虜になること間違いなし!ぜひ、お越しください!!

### Vol.4 <ブラームスとクララ~永遠の純愛~>のコンサートメモ

ロマン派最後の巨匠ブラームス。若き日の彼の才能を見いだしたシューマンの妻、クララ。精神を病み自殺を図った夫シューマンの悲劇的な死、7人の遺児の母として、女流ピアニストとして演奏活動を行うクララと、それを支え続けたブラームスの間には、いつしか友情を超えた真の愛情が…。シリーズ最終回は、ブラームスとクララ・シューマンの美しくも悲しい恋愛物語。

### Profile



#### 近藤 嘉宏 *Yoshikazu Kondo, Piano*

桐朋学園大学を首席卒業。その後、ミュンヘン国立音楽大学においてゲルハルト・オピッツのもとでさらなる研鑽を積む。1987年日本音楽コンクール第2位。92年ミュンヘン交響楽団との共演でデビュー、大成功をおさめる。国内では95年に正式にデビュー、翌96年にはCDデビューを果たし、一躍注目を集めた。Denon、Decca、Bellwoodなど数多くのレーベルから30タイトル以上のCD及びDVDを国内外でリリース。フェスティバルホール(大阪)における合計20回に及ぶリサイタル(1998~2008年)や、99年にショパン没後150年を記念して全国各地で行ったツアーは驚異的な動員数と共に、絶賛を博す。2001年チョン・ミュンフン主宰「セブンスターズ・ガラ・コンサート」に出演、チェロのジャン・ワンと白熱した演奏を繰り広げる。05年にはデビュー10周年を記念し、サントリーホールとザ・シンフォニーホール(大阪)でリサイタルを行い高い評価を受けるなど、着実にキャリアを積み重ねている。06年、ウィーン・ムジークフェライン・ブラームスザールにおいてリサイタル。10年、プラハにおいてマルティヌー弦楽四重奏団と共演、13年シマノフスキー弦楽四重奏団と共演し絶賛を博すなど、今後の国際的な活躍も大いに期待されている。これまでにミュンヘン響、スーパーワールドオーケストラ、東京フィル、東響、新日本フィル、日本フィル、札幌、大阪交響楽団、九響をはじめとする数多くの国内外のオーケストラに客演し高い評価を得る。16年にはミュンヘンのマックス・ヨゼフ・ザールでリサイタル、またウィーンのムジークフェライン大ホールにベートーヴェンの「皇帝」でデビューするなど、デビュー20周年を迎えその活動の幅は更なる広がりを見せている。14年より和光市民文化センターミュージック・パートナー。



#### 高橋 多佳子 *Takako Takahashi, Piano*

1990年第12回ショパン国際ピアノ・コンクール第5位入賞。以後、ポルト国際コンクール第2位および現代音楽最優秀演奏賞、ラジヴィウ国際コンクール第1位、第22回日本ショパン協会賞受賞など、輝かしい受賞歴を有する。桐朋学園大学卒業、国立ワルシャワ・ショパン音楽院研究科を最優秀で修了。その後10年にわたりポーランドで研鑽を積む。在欧中より演奏活動は日本とポーランドを拠点にほぼ全ヨーロッパに及び、国立ワルシャワ・フィルをはじめ、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東響、東京都響、札幌、京都市響、アンサンブル金沢、名古屋フィルなど、国内のほとんどの主要オーケストラと共演を重ね常に高い評価を得ている。すでに18枚のCDをリリースし、殊に《ショパンの旅路》(全6タイトル)、《ラフマニノフ：ピアノ・ソナタ 第2番 & ムソルグスキー：展覧会の絵》、《リサイタル「ショパン with フレンズ」~奇跡の年~》は、「レコード芸術誌特選盤」となる。2006年からはソロ活動に加え、宮谷香とのピアノデュオ・ユニット「Duo Grace」を結成。CD《グレイス》、《ストラヴィンスキー：ペトルーシュカ》は共に「レコード芸術誌特選盤」に選ばれた。2015年7月に発売されたONTOMO MOOK《ショパンの本》(音楽之友社)ではDVD演奏を担当し、発売と同時に大きな話題となった。2010年1月からは「茂木大輔の生で聴く「のだめカンタービレ」の音楽会」全国ツアーに参加。同年3月より浜離宮朝日ホールにて全4回に亘る《ショパンwithフレンズ》~奇跡の年~シリーズを開催、各会ともに優れた企画と高い音楽性で絶賛を博した。2014年からは主要ソナタをプログラムの中心に据えた自主企画シリーズ《名曲達の饗宴》を開催するなど、ますます意欲的な活動で大きな注目を集めている。



#### 浦久 俊彦 *Toshitaka Urahisa, Navigator*

文筆家、音楽・文化芸術プロデューサー。パリで音楽学、歴史社会学、哲学を学ぶ。フランスを拠点に音楽を中心に、幅広く文化芸術プロデューサーとして活躍。帰国後、三井住友海上らかわホールのエグゼクティブ・ディレクターを経て、浦久俊彦事務所を設立。多彩な分野のアーティストのオリジナル企画を手がけるほか、一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、公益財団法人日仏会館文化事業委員として、日本とヨーロッパの文化芸術交流にも力を注いでいる。著書に「フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか」(新潮社)、「138億年の音楽史」(講談社)がある。

公式ホームページ：<http://www.urahisa.com>



## 大田区民ホール・アプリコ



〒144-0052 東京都大田区蒲田5-37-3  
TEL:03-5744-1600 FAX:03-5744-1599  
<http://www.ota-bunka.or.jp/aprico>

### 交通・アクセス

JR京浜東北線、東急多摩川線・池上線「蒲田駅」東口から徒歩約3分  
京浜急行線「京急蒲田駅」西口から徒歩約7分  
駐車場：区営アロマ地下駐車場 15分/100円